

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2022年3月22日

事業所名: 放課後等デイサービス そだちね

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------|--|--|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | 指定基準よりかなりスペースがあります。勉強部屋、相談室、機能訓練室(療育をする場所)と部屋が分かれており、活動内容によってそれらを安全面に留意しながら工夫して使用しております。 | はい: 14人 どちらともいえない: 0人 いいえ: 0人 わからない: 2人 | 今後より良く、効果的に使用するために思案し続け、安全面に留意しながらより良い支援に活かせるよう取り組んでいきます。 |
| | 2 職員の適切な配置 | 基準より1人~2人以上多く配置しております。また、それとは別で送迎要員も配置する事で、送迎中も施設内に職員が十分にいるため、安全に留意しながら支援できております。イベント時のおでかけなどでは、さらに多く人員を配置する事で、施設外での安全面にも留意しております。 | はい: 11人 どちらともいえない: 2人 いいえ: 0人 わからない: 2人 | 職員の配置について判断できない保護者様もおられるため、皆様へ周知・相談していく取り組みと、特に人数が必要そうな支援については増員していることが分かりやすいよう、伝え方を検討してまいります。 |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | バリアフリーに対応できております。利用者様、活動内容に応じて随時改善に取り組んでおります。 | はい: 11人 どちらともいえない: 2人 いいえ: 0人 わからない: 2人 | 必要に応じて部屋を分けられたり、机の位置を移動したり、ついたてをしたりと環境を整えておりますが、それをもっとわかりやすく、保護者様へ環境整備、取組等の説明を行ってまいります。 |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | 毎日の清掃・消毒はマニュアルを完備して行い、衛生面への配慮を行っております。また、窓は常に少しは空けている状態にし、空調も常につけることで室温管理や空気の入れ替えにも注意しております。 | はい: 11人 どちらともいえない: 2人 いいえ: 0人 わからない: 2人 | 今後も継続して行っています。 |
| 業務 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | 毎週定期的に職員会議やモニタリング会議を行い、意見の集約、情報共有、改善への取り組みを行っております。その際、議事録も作成し、会議に参加できなかった職員へも情報共有しております。また、事業開始前のミーティングで今日の支援内容を伝達し、その結果から、検討・改善し、次回の支援に活かす取り組みをしております。 | / | 今後も継続して行っています。 |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | 現在は実施しておりません。 | / | 今後必要に応じて実施・検討してまいります。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|---|--|--|--|
| 改善 | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | 職員会議で必要に応じて支援方法の共有や研修を行っております。また、外部の研修プログラムを受ける機会を設けて参加してもらい、その内容の検討会、勉強会として意見を出し合う事で、知識を自分の実力に変えてもらう取り組みをしております。また、職員の役割・立場に応じて必要な外部の研修にも参加しております。 書籍など、自ら学んだ内容を発表、共有してもらう場も設けて、日々より良い支援のために資質の向上に努めております。 | | 今後も継続して行っています。 |
| 適切な支援の提供 | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 契約時の面談で利用者様・保護者様の現状やニーズなどを確認し、相談支援事業所から頂いた情報等も突き合わせて計画を作成し、その後の支援状況から必要に応じて面談を行い、最低でも6ヶ月以内面談を行い支援計画を改善し続けていき、日々の支援内容に活かしております。 | はい: 16人 どちらともいえない: 0人 いいえ: 0人 わからない: 0人 | 今後もより良い支援が行えるよう取り組んでいきます。 |
| | 2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | 利用者様・保護者様からのニーズや日々の支援状況から、個々にあった個別支援、集団支援を実施しております。 | | 今後もより良い支援が行えるよう取り組んでいきます。 |
| | 3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | 利用者様・保護者様からのニーズや日々の支援状況から、個々にあった項目を設定しております。また、支援内容は出来るだけ難しい言葉は使わず、具体的にわかりやすく記載するようにしております。個別支援計画にも、わかりやすい具体的な達成目標を記載するようにしております。 | はい: 15人 どちらともいえない: 1人 いいえ: 0人 わからない: 0人 | 今後もより良くわかりやすい計画の記載を心掛け、より良い支援の検討し、取り組んでいきます。 |
| | 4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | 日々計画に沿った支援を検討・実施し、その結果をもとに次回への改善を行っております。それも全て細かく記録する事で、職員への情報共有と支援方法の統一を図りながら日々支援しております。そして、定期的なモニタリングを実施する事で、必要に応じて支援方法を工夫しております。 | はい: 15人 どちらともいえない: 1人 いいえ: 0人 わからない: 0人 | 今後もより良い支援のために取り組んでいきます。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|-------------|--|--|--|---|
| 5 | チーム全体での活動プログラムの立案 | 会議や日々のミーティングで、一か月の活動プログラムの内容を細かく分析する時間を設け、日々より良い支援プログラムの検討・立案・実施に取り組んでいます。また、子ども達のやる気を持続、引き出せるように、新しい支援も毎月検討、実施しております。 | はい: 15人 どちらともいえない: 1人 いいえ: 0人 わからない: 0人 | 今後も継続して取り組んでいきます。 |
| | 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | 平日は短時間で終わらせ、リフレッシュできる支援を盛り込み、土曜日・長期休暇などは、普段できないイベントや遠方までのお出かけ、支援内容をしています。そして日々必ず達成できるレベルの目標を各個人で立て、それを達成しつづける事で、達成感を感じてもらおう等、時期や時間に応じて支援内容を検討、実施しております。 | | 今後も継続して取り組んでいきます。 |
| 適切な支援の提供(続) | 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | 就労の準備をできるよう、実際に工場や作業場に行って体験させていただいたり、見学、作業実収なども行っています。また、就労に向けたマナー研修や、コミュニケーションとトレーニング、最低限の体力づくりのために、マシンを使った体力とトレーニングも日々行っています。色々な支援を取り入れることによって経験値を増やし、支援内容も個々に応じて変える事で苦手意識を克服、得意な事をさらに伸ばせるよう計画を立てています。また、季節、学校行事のタイミングに合わせる事によってスムーズな支援が出来るように工夫し、飽きないように楽しく出来る工夫も行ってあります。 | はい: 15人 どちらともいえない: 1人 いいえ: 0人 わからない: 0人 | 今後も継続して取り組んでいきます。 |
| | 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | 日々の朝礼、昼礼で職員の役割を決め、支援方法を相談しながら決定し、それをサービス開始前のミーティングで共有・確認・実施してもらおう体制と、他指導員がサポート出来るような体制をとっております。 | | 今後も個々に応じて対応する職員や内容を工夫し、全職員でより良い支援が出来るよう継続して取り組んでいきます。 |
| | 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | サービス終了後、または翌日に、職員間で必ず支援の振り返りを行い、次回に向けた改善を検討し、翌日以降も他の職員へ情報を共有できる仕組み作りをおこなっています。 | | 今後も継続して取り組んでいきます。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|--------|--------|--|---|------------------------------------|
| き) | 10 | 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | | 今後も継続して取り組んでいきます。 |
| | 11 | 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | | 今後も継続して取り組んでいきます。 |
| 関係機関との | 1 | 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画 | | 必要に応じて、連携を取りながら参加していきます。 |
| | 2 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | | |
| | 3 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | | |
| | 4 | 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 | 学校の連絡帳を確認させて頂いたり、送迎時に情報の共有や確認を実施しております。また、必要に応じて懇談等も実施しております。また、学校便りコピーさせて頂き学校の行事等の把握にも努めております。 | 学校や先生の状況を見て、必要に応じて今後も情報共有を行っていきます。 |
| | 5 | 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、 | 必要に応じて情報提供できる体制を整えております。 | 今後も継続して取り組んでいきます。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|------|---|---|--|--|
| 連携 | 6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | 連携や研修情報を得るために地域のそういった集まりに参加し、研修への参加を職員に促し、参加してもらえる体制をとっております。そして、必要なものは必ず参加してもらえるよう取り組んでおります。 | | 今後も継続して取り組んでいきます。 |
| | 7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | 交流できるイベントがあれば出来るだけ参加しておりますが、回数が多くはないため、今後さらに参加出来る様取り組んでいきます。 | はい: 3人 どちらともいえない: 1人 いいえ: 3人 わからない: 8人 | そういったイベントの情報があればご案内をしています。ですが、今年もコロナ等の影響で難しい状況だったため、今後リモートでもできるか等、検討し、コロナ対策もしっかり行ってそういった機会が提供できるよう取り組んで参ります。 |
| | 8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | 夏にはバザーや縁日、春や秋にもプチ縁日のような催しに取り組み、地域の方へ案内、とのつながりを大事にしております。 | | 今後も地域の方も参加して頂けるイベント(夏祭り、プチ縁日、体験会、ハロウィン、バザーなど)を検討、実施していけるよう取り組んでいきます。 |
| 保護者へ | 1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | 契約時や懇談時に紙面と口頭で説明させて頂いております。また、変更なども紙面でお渡しするとともに、後から見てもらいやすいようメール等でもご連絡しております。 | はい: 15人 どちらともいえない: 0人 いいえ: 0人 わからない: 1人 | 今後も、より簡潔、明快な説明や紙面の作成に取り組んでいきます。 |
| | 2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | 契約時は口頭で面談・説明させて頂き、初回の計画はそれに沿った内容をお渡ししており、ご不明点等は直接説明させて頂いております。作成が2回目以降は、懇談時に前回の支援計画をもとに説明・支援の検討を実施しております。 | はい: 15人 どちらともいえない: 0人 いいえ: 0人 わからない: 1人 | 今後も、支援計画を見ながら、より分かりやすく説明できるよう実施・取り組んでいきます。 |
| | 3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | 現在、懇談や日々のメールでお伝えする場面もあります。 | はい: 7人 どちらともいえない: 4人 いいえ: 0人 わからない: 4人 | 今後もっとお伝えする場や機会を増やし、保護者様にご自宅でもより良い支援をしてもらえる工夫を行っていきます。 |
| | 4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 日々その日の支援内容をお伝えし、気になる点等は必要に応じて連絡・相談を行う事で共通理解に努めている。 | はい: 14人 どちらともいえない: 2人 いいえ: 0人 わからない: 0人 | 今後も継続して実施していきます。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|---|--|--|---|---|---|
| の 説 明 責 ・ 連 携 支 援 | 5 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | 日々の支援内容の連絡や、懇談などで、必要に応じて相談できる体制をとっております。 | はい: 14人 どちらともいえない: 2人 いいえ: 0人 わからない: 0人 | 最低でも半年に一回は交流会などを行いたいのですが、コロナ感染症の影響で、今年もそういった機会を設けられなかったため、リモートも検討し、収束すればもっと機会を作れるよう取り組んでいきます。 |
| | 6 | 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | コロナの影響により、保護者交流会の開催ができていない。 | はい: 4人 どちらともいえない: 3人 いいえ: 2人 わからない: 5人 | 最低でも半年に一回は交流会などを行いたいのですが、コロナ感染症の影響で、今年もそういった機会を設けられなかったため、リモートも検討し、収束すればもっと機会を作れるよう取り組んでいきます。 |
| | 7 | 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | 何かの出来事に対して、必ず説明出来る様情報共有を行い、項目ごとに対応できる担当者を決め、問い合わせがあった場合、迅速に対応できる体制が取れるよう取り組んでおります。 | はい: 10人 どちらともいえない: 0人 いいえ: 0人 わからない: 5人 | 苦情への体制状況を保護者様にもっと周知する体制をとっていき、今後も継続して対応・実施していきます。 |
| | 8 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | 利用者様の特性や状況に応じて、わかりやすく伝えられるよう取り組んでおります。 | はい: 13人 どちらともいえない: 0人 いいえ: 0人 わからない: 2人 | 今後も継続して実施していきます。 |
| | 9 | 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | 毎月一か月の予定を記載したお便りをお渡ししております。また、活動の様子は日々個人あてにごメールで連絡させて頂いております。 | はい: 12人 どちらともいえない: 0人 いいえ: 0人 わからない: 3人 | 今後も継続して実施していきます。 |
| | 10 | 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 個人情報の書類は鍵付きの書庫に保管し、廃棄する場合は必ずシュレッダーにかけています。また、皆様への連絡事項でメールを送信する際も、宛先が他の方へ表示されないよう留意しております。 | はい: 13人 どちらともいえない: 1人 いいえ: 1人 わからない: 0人 | 個人情報の漏洩などは、社会的に人為的ミスが一番多いことをしっかり職員に理解・周知しつつ、今後も継続して取り扱いに注意していきます。 |
| 1 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | マニュアルは整備しており、事業所内で周知し、会議等で定期的に注意喚起しております。 | はい: 13人 どちらともいえない: 0人 いいえ: 0人 わからない: 2人 | 作成されているマニュアルに沿って緊急時対応、防犯、感染対応などの研修を行っていることを、保護者様へもっと周知できるよう取り組んでいきます。 | |
| | 2 | 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | 最低年に一回、定期的に訓練を実施しております。実際の避難場所である学校へも協力頂き、そこまで実際に避難します。 | はい: 13人 どちらともいえない: 0人 いいえ: 0人 わからない: 2人 | 実施はしておりますが、保護者様への周知をもっとしていき、出来るだけ利用者様に参加してもらえよう取り組んでいきます。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------|--------|---|--|-----------------------------|
| 非常時等の対応 | 3 | 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応 | 年2回以上虐待防止研修を実施することで、虐待の知識と意識の向上、注意喚起を行っております。また、新規職員への研修もその都度実施しております。 | 今後も継続して実施していきます。 |
| | 4 | やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 現時点でその必要がありそうな方がおらず計画への記載等もしていませんが、今後必要な方が来られた場合は説明と共に計画への記載を徹底していきます。 | 今後必要に応じて説明、計画への記載を徹底していきます。 |
| | 5 | 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | 保護者様から契約時に必ず聞き取り、医師からの書面等もあればご提出いただき、事業所内で共有し、適切な対応に取り組んでおります。 | 今後も継続して実施していきます。 |
| | 6 | ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内でその都度振り返りや会議で共有、改善に取り組んでおります。 | 今後も継続して実施していきます。 |